

保護者各位

「自己評価のご報告」

今年もコロナ禍での一年となりました。そして、登園自粛や時間短縮保育など、皆さまにご迷惑をおかけし、申し訳ございませんでした。

さて、先日はお忙しいなかアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。集計ができましたので、まず「保護者アンケート結果」、次に「職員自己評価まとめ」、最後に「園としての自己評価」をさせていただきます、ここにご報告申し上げます。

1.保護者アンケート結果に関して

「保護者アンケート結果」アルタベビー草加文教園		回答率:78.95%		
No	質問項目	はい	どちらとも いいない	いいえ
1	当社の保育理念・保育目標について理解していますか	86.67%	13.33%	0.00%
2	職員はお子さんの気持ちを大切にしていると感じますか	80.00%	13.33%	6.67%
3	職員の言葉遣いや態度、服装等は適切ですか	80.00%	13.33%	6.67%
4	保育園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	93.33%	6.67%	0.00%
5	安全対策や感染症対策が十分取られていると思いますか	86.67%	6.67%	6.67%
6	お子さんが怪我をしたり、体調が悪くなったときの職員の対応は信頼できますか	93.33%	6.67%	0.00%
7	保育所で提供される食事・おやつはお子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	80.00%	6.67%	13.33%
8	不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員はきちんと対応してくれていると思いますか	86.67%	6.67%	6.67%
9	当園に満足されていますか	86.67%	6.67%	6.67%

・項目1 に関しましては、ほとんどの方にご理解いただけているということが分かりました。ですが、13%の方が「どちらともいいない」を選択されています。見えるところへ保育目標を掲示し、保護者の皆様にしっかり届くように工夫してまいります。またより年齢や季節や今だからこそ出来る事などを活動に取り入れ、さまざまな経験をしてまいります。

・項目2 に関しましては、20%の方が「いいえ」及び「どちらともいいない」を選択しています。ご不安な気持ちにさせてしまい、申し訳ございませんでした。その都度、お子さ

んの気持ちを受け止め、声掛けや保育内容の設定に努めておりますが、今一度振り返り、改善に努めてまいります。

- ・**項目3**についても20%の方が「いいえ」及び「どちらともいえない」を選択しています。

日々、お子さんに対してだけでなく、職員同士でも丁寧な言葉遣いを意識し、態度や服装等も気を付けております。ですが、不適切だと感じる場面もあり、申し訳ございませんでした。この結果を職員一同で受け止め、今一度、職員全員が自らを振り返る機会を設け、改善に努めてまいります。

- ・**項目4**につきましては、ほとんどの方に清潔で整理された空間といただいている

とういことで、園といたしまして嬉しい結果です。ありがとうございます。次の項目5と関連することでもあると思いますので、今後も清潔で整理された空間を意識してまいります。

- ・**項目5**につきましては、保護者の皆さん同様、総ての職員がオフの時間も含め、気を付

けて行動していることだと思います。コロナに関しましては、今年初めて急な家庭保育や時間短縮保育などの対応をさせていただきました。このような判断だけでなく、コロナに関する件につきましては、国からの通達や要請、厚生労働省・草加市のガイドラインなどに則り、本部や草加市保育課と協議し、地域や当園の現状を含めて職員と検討し、施設長が最終決定をしております。また、感染症対策といたしまして、具体的な内容の提示が足りなかったと思っております。毎日必ず行っている内容といたしましては、下記の通りとなっております。

- ・ 玄関での手指のアルコール消毒
- ・ 保育室の常時換気、加湿器の常時使用
- ・ 職員のマスク着用の徹底、出勤時と休憩時に検温
- ・ 子どもの朝、昼、夕の検温
- ・ 子どもや職員が触れる、壁・柵・ドアノブ等をピューラックスでの水拭き
- ・ 使用した玩具をピューラックスでの水拭き
(口に含んだものは直ぐに消毒。布物は洗濯。)
- ・ 窓のアルコール消毒
- ・ 毎食後、椅子とテーブル、床をピューラックスでの水拭き
- ・ 食事前、戸外遊び後の手洗い
- ・ 下駄箱やロッカーをピューラックスでの水拭き
- ・ 水道の清掃
- ・ トイレの清掃

玄関での手指消毒につきまして、最近疎かになっていることが分かりました。直ちに改善し、より一層、感染対策に努めてまいります。

安全面については毎日、開園前に職員が清掃と同時に安全点検を行っております。また、日々の申し送りの際に戸外活動での危険箇所や職員配置等の意見を出し、共有しております。尚、何か気になる点がございましたら、遠慮なさらず、施設長・副園長等にお声掛けください。

・**項目 6**につきましては、ほとんどの方に信頼していただけているということで、園といたしまして嬉しい結果です。ありがとうございます。怪我はない事が大前提ではありますが、今後も保護者の皆様に安心してお仕事へ行っていただけるよう努めてまいります。

・**項目 7**についてです。毎月、本部より送られてくる献立を元に提供しております。写真や掲示を見て気になる点等ございましたら、遠慮なさらず、その場にいる職員や施設長にお声掛けください。また、保護者会や個人面談などでご意見を頂ける場を設けてまいりたいと思います。頂いたご意見は本部とも共有し、改善に努めてまいります。

・**項目 8**についてです。約2割の方が「いいえ」及び「どちらともいえない」を選択しています。そのような思いをされた方につきましては、大変申し訳ございませんでした。場合によっては園として対応が難しい事や本部への報告・相談が必要な場合、お時間を頂戴する事もあるかと思っております。その際でも理由の説明などきちんとした対応ができるよう、研修や勉強会、職員会議などで共有し、努めてまいります。

・**項目 9**については、ほとんどの方にある程度満足頂いている結果となりました。ありがとうございます。制度上、保育園というところは必ずしも第一希望ではない園でも利用せざるを得ないものですが、より多くの方に、それでも「入って良かった」と思ってもらえるよう、努めてまいります。

2.職員自己評価に関して

当社姿勢目標の順守に関して

<進取の精神と自学の姿勢>

一人ひとりが学ぶ姿勢を心掛け、良いと感じたことはとんどん取り入れるようにした。また、一人で解決できないことは周りに頼り、一緒に解決していくように心掛けた。

<得意分野の深化>

まずは自らの得意分野を見つけ、実践を積み重ねられるように心掛けた。出来なかったと

感じる日もあったが、積み重ねた経験が自信へ繋がるように努めていきたい。

<報連相の徹底>

- ・毎日行う、昼礼での子ども達の様子や給食の様子、職員への連絡事項等は業務日誌を出勤前に確認するように心掛けた。
- ・更衣室(兼休憩室)にボードを設置し、共有事項を確認出来るようにした。
- ・子どもの検温ボードに受入れ時に家庭での怪我や体調の様子を記入し、後から出勤する職員にも直ぐに共有できるようにし、ボードの確認をするよう心掛けた。
- ・職員会議、クラス会議を通して、子ども一人ひとりの理解を深め、共通認識をもてるようにした。また、参加出来なかった際は議事録を確認し、分からないことは直ぐに確認するように心掛けた。

<安心・安全な労働環境の確保>

- ・「使った物は元の場所に返す」当たり前の事だが、意識するように心掛けた。
- ・倉庫や備品の収納場所等、分かりやすくし、整理整頓しやすいようにした。
- ・清掃の内容ややり方を細かく定め、全員が確認出来るように資料の作成と掲示をしている。
- ・常に誰かに聞かれていることを意識し、職員間でも丁寧な言葉を使うように心掛けた。
- ・ボードに休憩に入る時間と場所、名前を記入し、全員が把握、時間を意識できるようにした。また、感染対策の為、休憩室と空いている保育室で休憩を取る為、日替わりで休憩室を使えるように工夫した。
- ・生活習慣を見直し、休日でも規則正しい生活を送るよう心掛けた。

<規律を守る>

- ・園内へ入るとき、保育室へ入るとき、明るく元気よく挨拶することを心掛けた。
- ・帳票類等を期限内に提出できるように計画的に進め、難しい時は周りに声を掛け、時間を作れるようにした。
- ・就業規則を定期的に見返し、確認するように心掛けた。

コドモンを用いた保育計画に関して

コドモンに登録されている例文をそのまま使わず、子ども一人ひとりの「現在」の姿と照らし合わせながら月案、週案、日案の計画を立てるように心掛けた。また、更衣室に週案のボードを設置し、週のねらいや日案を全員が見られるようにしたことで、全員が同じねらいをもって保育を行うことができるようになった。

保育の成果集(Libro)に関して

投稿があまり出来ておらず、上手く活用出来ていなかったと感じる。職員一人ひとりが閲覧しやすいように工夫し、自園の保育に取り入れていけるようにしていきたい。

子どもとの正しい接し方(Luce)に関して

- ・「○○してはダメ」や「○○しないと出来ない」などと否定的な言葉よりも「○○しよう」や「○○したら○○できるよ」などと前向きになれるような言葉かけを心掛けた。
- ・子どもの主体性を大事にし、同じ目線になって寄り添い、共感し、認め、より良い方向へ向かうように心掛けた。
- ・遊びに入る前に約束事を話し、全員が安全に楽しく遊べるように心掛けた。
- ・危険なこと以外は自由に遊ぶ姿を見守るようにしながらも一緒に遊び、子ども達の発見やわくわくすることに共感するよう心掛けた。
- ・小グループや個人とも関わるができる位置取りや環境設定をするように心掛けた。
- ・子ども同士の関わりを大切にし、必要な際は仲立ちとなり、気持ち代弁したり、相手の気持ちや相手への伝え方を伝えたりするようにした。
- ・子どもの言っていること言葉や意味が不明瞭な場合、何度も繰り返すのではなく、「知識・経験に基づく推測」をするように心掛けた。推測した内容が間違っていた場合、子どものせいにせず、保育者の責任としている。
- ・子ども達がじっくりと考えて応答できるよう、長い沈黙でも待つように心掛けた。
- ・正しく適切な言葉や言い方を配慮して選ぶよう、心掛けた。
- ・子どもが取り組んでいることで苦勞していると感じた時は必要であれば援助するようにした。
- ・子ども一人ひとりに対して、適切な時に、すぐにほめ言葉や励ましの言葉掛けをするように心掛けた。
- ・子ども達の要求に対して、すぐに応答、検討するように心掛けた。必要に応じて他の保育者が加わり、子ども達がただ待っているだけにならないように心掛けた。
- ・子ども達のその時の興味や関心に沿った、新しい素材や教材、活動、もしくは挑戦を定期的に用意するように心掛けた。
- ・子どもたちと歌や言葉遊び以外の活動をしている時に、遊んだりかかわったりしながら、歌ったり言葉遊びしたりするように心掛けた。
- ・常に子ども達がわくわく、発見できるような保育を心掛けた。

3.園としての自己評価に関して

皆さまからいただきましたアンケート結果や、職員の自己評価を踏まえ、来年度もお子さん一人ひとりを尊重していくこと、そして安心安全な保育環境を整えることを大前提とし、その上で以下3点について目標を掲げ、保育を進めてまいりたいと思います。来年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

- ①基本的な生活習慣を身につけ、健やかな身体を育む保育

- ②食育や季節の行事、遊びを楽しみ、感性を育む保育
- ③友達や先生、地域との関りを大切にした保育